

研究課題名	小児気管支喘息におけるウイルス感染の関与についての検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	小児科 氏名 岡田 麻理
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認後 ～ 2022年12月
研究の意義・目的	2019年度末から世界でpandemicとなったSARS-CoV-2の流行によりmultiplex PCR検査の有用性は広く日本中に広まっている。Multiplex PCR検査により、以前であれば診断ができなかったウイルス性気道感染症の原因検索が可能となった。小児においては、気管支喘息発作の原因として、アレルギー反応のみならず、ウイルスによる急性呼吸器感染症が関与しているという報告が散見される。地域における急性呼吸器感染症の実態を調査するとともに、小児における急性呼吸器感染症の気管支喘息発作への関与検討し、COVID-19流行下という過去の報告とは異なる特殊な状況での小児急性気道感染症、気管支喘息発作の臨床像について検討する。
研究の方法 (対象期間含む)	方法:後ろ向き調査観察研究 対象期間・対象・調査項目:2020年12月から2022年1月の期間に、急性呼吸器感染症、気管支喘息発作を呈して喘鳴を認めたため当院小児科に入院し、鼻咽頭検体をもちいたmultiplex PCR検査をうけた患者を対象とする。Multiplex PCR検査機器はFilmArray (バイオメリュウ社)を用いて行う。FilmArray呼吸器パネルが扱う病原体は、アデノウイルスコロナウイルスHKU1, 229E, OC43, SARS-CoV2、インフルエンザ A, A/H1, A/H1pdm, A/H3, B, パラインフルエンザ1, 2, 3, 4, RSウイルス、ヒトライノウイルス・エンテロウイルス、ヒトメタニューモウイルス、百日咳、クラミジア・ニューモニエ、マイコプラズマ・ニューモニエの20種。利用する情報は患者年齢・性別、FilmArray検査結果、酸素飽和度、酸素投与期間、薬物投与の内容、入院期間などのカルテ情報
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む)  ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目  ③利用する者の範囲  ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①後ろ向き調査観察研究であり、臨床検査データベースより情報を収集し統計学的解析を行う ②調査項目:患者年齢・性別、FilmArray検査結果、酸素飽和度、酸素投与期間、薬物投与の内容、入院期間などのカルテ情報 ③小児科 岡田麻理、天野沙織 ④小児科 岡田麻理
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 小児科 氏名 岡田 麻理  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525